

平成21年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成20年7月30日

上場会社名 サトレスラントシステムズ株式会社

コード番号 8163 URL <http://www.sato-restaurant-systems.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長

(氏名) 重里 欣孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員副社長

(氏名) 清久 裕一

四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

上場取引所 大

TEL 072-227-5901

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	6,202	—	△123	—	△142	—	△170	—
20年3月期第1四半期	6,533	△2.0	△99	—	△114	—	△114	—
1株当たり四半期純利益			潜在株式調整後1株当たり四半期純利益					
21年3月期第1四半期	円 銭		円 銭					
20年3月期第1四半期	△6.77		—					
△4.55			—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
21年3月期第1四半期	百万円 23,355	百万円 10,069	% 43.1	円 銭 400.58
20年3月期	23,168	10,227	44.1	406.89

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 10,069百万円 20年3月期 10,227百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 5.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期(は対前期、第2四半期累計期間)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間 通期	13,850	—	300	—	220	—	100	—	3.98
	27,300	0.1	600	△4.9	450	△10.9	50	△35.1	1.99

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

〔注〕詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 25,394,380株
② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 258,411株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第1四半期 25,136,219株

20年3月期 25,394,380株

20年3月期 257,911株

20年3月期第1四半期 25,143,328株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題による世界経済の減速懸念に加え、原油や穀物の価格高騰による物価上昇などにより、個人消費の低迷が続いております。

外食産業におきましては、個人消費の低迷に加え、業種業態を越えた食マーケットの競争の激化などにより既存店の売上高は伸びず、また原材料の価格上昇、原油価格高騰によるエネルギーコストの増加など、引き続き厳しい状況で推移しました。

このような状況の中、当社は「最も顧客に信頼される和食レストランの実現」に向けて諸施策を積極的に推進してまいりました。

店舗展開につきましては、郊外和食業態で1店舗の新規出店と、おとどけ寿司業態からの撤退で2店舗の閉店を行いましたので、当第1四半期末の店舗数は215店舗となりました。その内訳は、郊外和食店199店舗、すし半店13店舗、たわわ店3店舗であります。

主力の郊外和食業態では、12店舗の改装を実施し、9店舗をバリューアップメニューに変更し、料理や接客サービスの向上と共にトータルでのお客様の満足度の向上に取り組みました。すし半業態におきましては、1店舗の改装を実施しました。

以上の結果、当第1四半期の業績は、売上高62億2百万円、営業損失は1億23百万円（前年同期は99百万円の営業損失）、経常損失1億42百万円（前年同期は1億14百万円の経常損失）、四半期純損失1億70百万円（前年同期は1億14百万円の四半期純損失）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末における総資産は、233億55百万円（前期末比1億87百万円の増加）となりました。流動資産は29億88百万円（前期末比2億25百万円の増加）、固定資産は203億66百万円（前期末比38百万円の減少）となりました。増加の主なものは、現金及び預金の増加1億2百万円、棚卸資産の増加37百万円及び短期の繰延税金資産の増加51百万円などあります。減少の主なものは、未収入金の減少33百万円、差入保証金の減少25百万円などあります。

流動負債は、59億92百万円（前期末比25百万円の増加）となりました。増減の主なものは、未払金の増加2億77百万円、買掛金の減少92百万円、短期借入金の減少48百万円などあります。

固定負債は、72億93百万円（前期末比3億20百万円の増加）となりました。これは主に長期借入金3億21百万円の増加によるものであります。

純資産は、100億69百万円（前期末比1億58百万円の減少）となりました。これは主に利益剰余金1億70百万円の減少によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物は、期首残高に比べ1億2百万円増加し、19億11百万円となりました。

営業活動による資金の減少は、10百万円となりました。その増減の主なものは、減価償却費2億25百万円や未払金の増加2億77百万円による資金の増加と、税引前四半期純損失1億85百万円を計上したことや法人税等の支払1億円などによる減少であります。

投資活動による資金の減少は、1億59百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得1億84百万円による支出であります。

財務活動による資金の増加は、2億72百万円となりました。その増減の主なものは、短期借入金の純減1億40百万円、長期借入金の純増4億12百万円などであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成20年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

4. その他

- (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①会計処理基準に関する事項の変更

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

②たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

この変更による損益に与える影響額はございません。

5. 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

	(単位:千円)	
	前事業年度末に係る 当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,911,469	1,809,373
売掛金	107,983	139,758
商品	37,242	34,651
製品	90,691	72,221
原材料	308,033	295,479
貯蔵品	43,636	39,310
繰延税金資産	210,490	159,099
その他	278,888	213,009
流動資産合計	2,988,436	2,762,905
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,631,647	3,630,666
土地	9,541,651	9,541,651
その他	885,594	892,210
有形固定資産合計	14,058,892	14,064,527
無形固定資産		
投資その他の資産	384,614	390,645
投資有価証券	549,257	529,375
長期貸付金	535,835	546,961
差入保証金	3,962,276	3,987,289
繰延税金資産	485,000	499,381
その他	390,997	387,123
投資その他の資産合計	5,923,367	5,950,130
固定資産合計	20,366,875	20,405,303
資産合計	23,355,311	23,168,208

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	452, 554	544, 602
未払金	1, 308, 297	1, 030, 504
短期借入金	3, 548, 453	3, 597, 328
未払法人税等	45, 663	141, 756
未払消費税等	117, 187	79, 305
賞与引当金	99, 000	247, 000
店舗閉鎖損失引当金	14, 885	6, 966
その他	406, 610	319, 397
流動負債合計	5, 992, 651	5, 966, 860
固定負債		
長期借入金	6, 123, 898	5, 802, 527
役員退職慰労引当金	78, 811	78, 811
再評価に係る繰延税金負債	917, 768	917, 768
その他	173, 111	174, 460
固定負債合計	7, 293, 588	6, 973, 567
負債合計	13, 286, 240	12, 940, 428
純資産の部		
株主資本		
資本金	5, 592, 458	5, 592, 458
資本剰余金	3, 224, 180	3, 224, 180
利益剰余金	1, 097, 244	1, 267, 419
自己株式	△184, 723	△184, 378
株主資本合計	9, 729, 159	9, 899, 679
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	220, 713	208, 903
土地再評価差額金	119, 198	119, 198
評価・換算差額等合計	339, 911	328, 101
純資産合計	10, 069, 070	10, 227, 780
負債純資産合計	23, 355, 311	23, 168, 208

(2) 【四半期損益計算書】

(単位：千円)

当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
売上高	6,202,473
売上原価	1,771,373
売上総利益	4,431,100
販売費及び一般管理費	
販売費及び一般管理費合計	4,554,265
営業損失(△)	△123,164
営業外収益	
受取利息	3,450
受取配当金	4,925
受取家賃	38,855
雑収入	17,802
営業外収益合計	65,034
営業外費用	
支払利息	49,028
不動産賃貸費用	30,846
雑損失	4,132
営業外費用合計	84,006
経常損失(△)	△142,136
特別利益	
店舗閉鎖損失引当金戻入額	1,325
特別利益合計	1,325
特別損失	
固定資産除却損	16,647
減損損失	15,846
店舗閉鎖損失引当金繰入額	12,610
特別損失合計	45,104
税引前四半期純損失(△)	△185,915
法人税、住民税及び事業税	29,340
法人税等調整額	△45,082
法人税等合計	△15,741
四半期純損失(△)	△170,174

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー

税引前四半期純損失 (△)	△185,915
減価償却費	225,660
減損損失	15,846
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△148,000
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	7,918
受取利息及び受取配当金	△8,375
支払利息	49,028
有形固定資産除却損	14,808
売上債権の増減額 (△は増加)	31,774
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△37,939
仕入債務の増減額 (△は減少)	△92,047
未払金の増減額 (△は減少)	277,792
未払消費税等の増減額 (△は減少)	37,881
その他	△60,873
小計	127,559
利息及び配当金の受取額	4,965
利息の支払額	△42,550
法人税等の支払額	△100,407
その他の支出	△257
営業活動によるキャッシュ・フロー	△10,689

投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	△184,508
差入保証金の差入による支出	△15,030
差入保証金の回収による収入	22,963
建設協力金の回収による収入	35,435
その他	△18,331
投資活動によるキャッシュ・フロー	△159,471

財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の純増減額 (△は減少)	△140,000
長期借入れによる収入	1,150,000
長期借入金の返済による支出	△737,504
自己株式の取得による支出	△345
財務活動によるキャッシュ・フロー	272,151
現金及び現金同等物に係る換算差額	106
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	102,096
現金及び現金同等物の期首残高	1,809,373
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,911,469

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 繼続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
売上高	6,533,299
売上原価	1,897,317
売上総利益	4,635,982
販売費及び一般管理費	
販売費及び一般管理費合計	4,735,158
営業損失 (△)	△99,176
営業外収益	
受取利息	3,696
受取配当金	3,088
受取家賃	52,735
雑収入	14,259
営業外収益合計	73,779
営業外費用	
支払利息	48,500
不動産賃貸費用	34,325
雑損失	6,299
営業外費用合計	89,125
経常損失 (△)	△114,522
特別損失	
固定資産除却損	28,481
特別損失合計	28,481
税引前四半期純損失 (△)	△143,003
法人税、住民税及び事業税	25,210
法人税等調整額	△53,713
法人税等合計	△28,503
四半期純損失 (△)	△114,500

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失 (△)	△143,003
減価償却費	238,657
賞与引当金の増減額 (△は減少)	197,645
受取利息及び受取配当金	△6,784
支払利息	48,500
有形固定資産除却損	28,481
売上債権の増減額 (△は増加)	19,366
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△61,535
仕入債務の増減額 (△は減少)	△40,048
未払消費税等の増減額 (△は増加)	116,091
その他	△9,013
小計	388,357
利息及び配当金の受取額	3,128
利息の支払額	△35,466
法人税等の支払額	△99,035
その他の支出	△358
営業活動によるキャッシュ・フロー	256,624
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△295,804
差入保証金の差入による支出	△15,071
差入保証金の回収による収入	117,108
建設協力金の回収による収入	16,830
その他	29,904
投資活動によるキャッシュ・フロー	△147,032
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	440,000
長期借入れによる収入	600,000
長期借入金の返済による支出	△787,502
自己株式の取得による支出	△1,255
配当金の支払額	△251,437
財務活動によるキャッシュ・フロー	△195
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	109,396
現金及び現金同等物の期首残高	2,326,089
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,435,486